

# 「東北・新潟女性応援ネットワーク勉強会」開催報告

## はじめに

当センターでは、2020年度に「東北における女性活躍推進の実態と働く女性の意識調査」報告書を取り纏めた。その結果、東北圏は首都圏に比べ女性が働きやすい環境ではないことが明らかとなった。そうした状況を放置しておけば、より一層、東北圏は女性が働きづらい、活躍が難しい地域に陥ってしまう恐れがある。そこで、当センターでは東北圏企業の女性活躍推進に向けた取組みを促していくための勉強会を企画し、2021年度の事業検討を経て、本年度は「東北・新潟女性応援ネットワーク勉強会」(全4回)を実施している。

本稿では、本年度実施した第1回から第3回勉強会の概要を報告する。

## 東北・新潟女性応援ネットワーク勉強会の概要

### (1) 目的

東北圏における女性活躍推進のさらなる発展には企業間の情報共有とネットワークづくりが重要である。本勉強会は、そうした企業間の情報共有とネットワークづくりを目指すとともに、企業のダイバーシティ & インクルージョン(以下、D&I)への理解促進や具体的取組みにつながるきっかけとなる場を提供する。

### (2) 実施体制(共催)

公益財団法人東北活性化研究センター  
 公益財団法人21世紀職業財団(2020年度調査連携協力先)

### (3) 内容

講義及びグループトーク

### (4) 実施形式

オンライン

### (5) 対象者

女性活躍やダイバーシティ推進の担当責任者、部下を持つ管理職

### (6) テーマ

	内 容(参加人数)	実施日
第1回	さらなる女性活躍推進に向けた取組み指南(24名/16社)	6/20
第2回	デュアルキャリアカップルを目指して(17名/13社)	8/29
第3回	女性管理職限定のネットワーク勉強会自分らしいスタイル～リーダーシップ発揮～(20名/16社)	11/11
第4回	女性社員育成スキル向上を目指して	(1/23)

## 講義内容

### (1) 第1回勉強会

#### 「さらなる女性活躍推進に向けた取組み指南」

女性活躍が求められる背景や推進する上での課題、課題に対する取組みを講義した。企業の存続・成長・発展にはD&I推進が必要不可欠である。人口減少下において、多様な人材の活躍、とりわけ、女性の活躍は喫緊の課題であり、女性活躍推進は、D&I推進の第一歩であると紹介した。そして、女性活躍推進のための取組みとして、組織の現状分析を行う意義の理解や「育成・登用」・「働きやすさ」の改善、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)への対応などの必要性を説いた。

## (2) 第2回勉強会

### 「デュアルキャリアカップルを目指して」

21世紀職業財団が昨年度実施した「子どものいるミレニアル世代夫婦のキャリア意識に関する調査研究」から、東北圏のデュアルキャリアカップル<sup>1</sup>の現状とそうしたカップルを増やすための取組みが紹介された。夫の育児参加によって妻のキャリアアップの実感が高まるといった調査結果をもとに、夫婦それぞれが希望するキャリアを実現するために望ましい制度利用のあり方の模索や選択肢の検討、夫婦の協力でキャリアアップのチャンスをつかむことの重要性などが説かれた。

## (3) 第3回勉強会

### 「女性管理職限定のネットワーク勉強会」

21世紀職業財団業務執行理事兼事務局長の橋本かおる氏が講師を務め、一般職から執行役員まで上り詰めた自身の経験をもとに管理職として自分らしいスタイルの築き方、リーダーシップの発揮の仕方を講義した。自身の軸を作ることになった数々の経験を取り上げながら、

#### 第3回勉強会の様子



築き上げてきた自身のスタイルを紹介した。そして、そのスタイルが管理職としての役割を全うする上での心の安定や前向きな捉え方、割り切りの良さなどの良い効果をもたらしてくれたことを説明した。勉強会に参加した20名の女性管理職に向け、それぞれが自分らしいスタイルを築く必要性を説いた。

## 参加者感想 (抜粋)

- 業種が違って、同じような悩みをもっていることを知ることができた
- 他社の取組みの内容等を共有できる貴重な機会となった
- 他社が抱えている課題について共感する場面が多くあった
- 今後、他社で取り入れている制度や仕組みを自社でも検討したい
- 自社の取組みは相当遅れていると感じていたが、他社の取組みを知り、意外に自社はD&Iの考え方が定着してきていると感じた
- 自社の女性活躍推進が全く進んでいない事を改めて感じた
- 参加者それぞれが大切にしている価値観にふれて、視野が広がる思いがした
- 同じ女性管理職同志で様々な話が聞けて励みになった
- 管理職の先輩方からアドバイスをもらうことができ、自分の未来に少し明るさが見えた

## 今後に向けて

いずれの回についても勉強会参加者からは講義、グループトークともに「参考になった」との高い評価を得ている。次年度についても継続して勉強会を開催していく予定であり、女性活躍やD&Iに関する最新のテーマを取り上げながら、東北圏における女性活躍推進のさらなる発展に寄与していきたい。

1 ただ働くだけでなく、それぞれがキャリアを自律的に考えて形成し、仕事においても家庭においても充実した生活を実現する夫婦